



～いばらき 花名所～

国営ひたち海浜公園

PRESS RELEASE

平成 20 年 4 月 15 日

4月20日(日)オープンです!

「みはらしの里・里の家」 「みはらしの丘第3頂上」
オープニングイベント開催します。

～ひたち海浜公園に新たな魅力が加わります～



謹啓 陽春の候 皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、国営ひたち海浜公園では、来る4月20日(日)に、「みはらしの里・里の家」そして「みはらしの丘第3頂上」がオープンします。これを記念して、オープニングイベントを開催いたしますのでご案内申し上げます。

当日は、みはらしの里において12:00から先着500名様限定で、みはらしの里の畑で昨年収穫した蕎麦の実を用いた「そばだんご」をふるまわせていただくほか、私立大成女子高等学校吹奏楽部による演奏や地元栄光幼稚園児が制作した全長10mの鯉のぼりを掲揚する記念イベントを開催いたします。

「みはらしの里」は、“なつかしい村の風景と活動”をテーマに、常陸国の江戸期から昭和にかけての農村風景を再現していくものです。「里の家」では、里の“食”を活用テーマとして、主に地域に伝わる伝統食や行事食づくりなどの活動を行って行く予定です。「みはらしの丘第3頂上」は、県内の公共工事における建設発生土で造成した海拔58mの人工の丘で、ひたちなか市で最も高い丘となっています。

つきましては、皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願い申し上げます。

謹言

お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼605-4

ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・森下

電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339

※お客様問い合わせ電話番号 (029) 265-9001

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

「みはらしの里・里の家」「みはらしの丘第3頂上」 オープニングイベントについて

昔なつかしい風景とともに農村活動を体験できるエリアとして整備が進められている「みはらしの里」の一部と「みはらしの丘第3頂上」が供用開始されることを記念して、オープニングイベントを開催します。供用開始をお客様と一緒に祝うとともに、その魅力を来園された方に広くPRすることを目的としています。

1. 実施日

平成20年4月20日（日） 10:45～16:30

2. 実施場所

みはらしの里（「里の家」及び作業ニワ）

3. 主催

国土交通省関東地方整備局 国営常陸海浜公園事務所



4. スケジュール

■ 第1部

10:45 「私立大成女子高等学校鼓笛隊」の行進

水戸市にある女子高等学校吹奏楽部員38名の皆さんが、本公園のマスコットキャラクター「海（かい）くん・花（はな）ちゃん」とともに、記念の森レストハウス前から「里の家」までの約300mを演奏しながら行進します。

11:00 「オープニングイベント」開会宣言

「海くん・花ちゃん」による開会宣言を行います。

11:05 「大成女子高等学校鼓笛隊」記念演奏

吹奏楽コンクール茨城県大会銀賞、日本管楽合奏コンテスト全国大会優秀賞を獲得している実力派の皆さんによる演奏をお楽しみください。

11:10 鯉のぼりの掲揚

地元栄光幼稚園の皆さんに制作をご協力いただいた全長10mの鯉のぼりが元気一杯、春風に泳ぎます。

11:15 カラーバルーンリリース

現在開花中のスイセンを模して白と黄色のバルーン1000個を、地元栄光幼稚園の皆様とともに空高く舞い上げます。

※風船は、土に還る自然に配慮したものを使用しています。

『やんさ太鼓保存会』記念演奏

“ヤンサマチ”の砂競馬の様子を表した『やんさ太鼓』をはじめとし、多数のレパートリーを持っている会の皆さんによる勇壮な太鼓の記念演奏をお楽しみいただけます。

■ 第2部

11:20 『やんさ太鼓保存会』演奏

記念演奏に続き、やんさ太鼓保存会の皆さんに勇壮な演奏をご披露いただきます。（～11:40）



やんさ太鼓保存会の皆さんの演奏風景

※12:00からは、「そばだんごのふるまい」「510匹の鯉のぼりを作ろう!!」をお楽しみいただけます。

5. イベント内容

① そばだんごのふるまい

秋に収穫したそばの実を使って、そばだんごをふるまいます。素朴な味をお楽しみいただけます。

時間：12：00～

定員：先着 500 名（なくなり次第終了）

参加費：無料

みはらしの里で収穫した蕎麦の実を使った手作りの「そばだんご」は、香ばしいそばの風味が口いっぱい広がります。是非一度ご賞味ください！



② 伝承遊び体験コーナー

「里の家」に、竹馬、剣玉、メンコ、羽根突きなどの懐かしい伝承遊びが体験できるコーナーを設置します。

時間：9：30～16：30

参加費：無料



③ 510 匹の鯉のぼりを作ろう！！

“鯉（こい＝51）のぼり”にちなみ、510匹の鯉のぼりの制作キットを使用し、絵付け体験をしていただきます。

できあがった鯉のぼりは、みはらしの里に飾ります。

時間：12：00～

定員：先着 200 名

参加費：飾付用＝無料 持帰用＝300 円



④ 昔の農具展

昔使われていたさまざまな農具を展示し、使用方法等をパネルで紹介します。

時間：9：30～16：30

参加費：観覧無料

協力：茨城県立歴史館



『みはらしの里について』

1. みはらしの里について

みはらしの里のテーマは、“なつかしい村の風景と活動”。常陸国の江戸期から昭和にかけての農村風景をみんなで再現していきます。

「みはらしの里」では、農村の風景づくりと参加体験型の運営をしていきます。

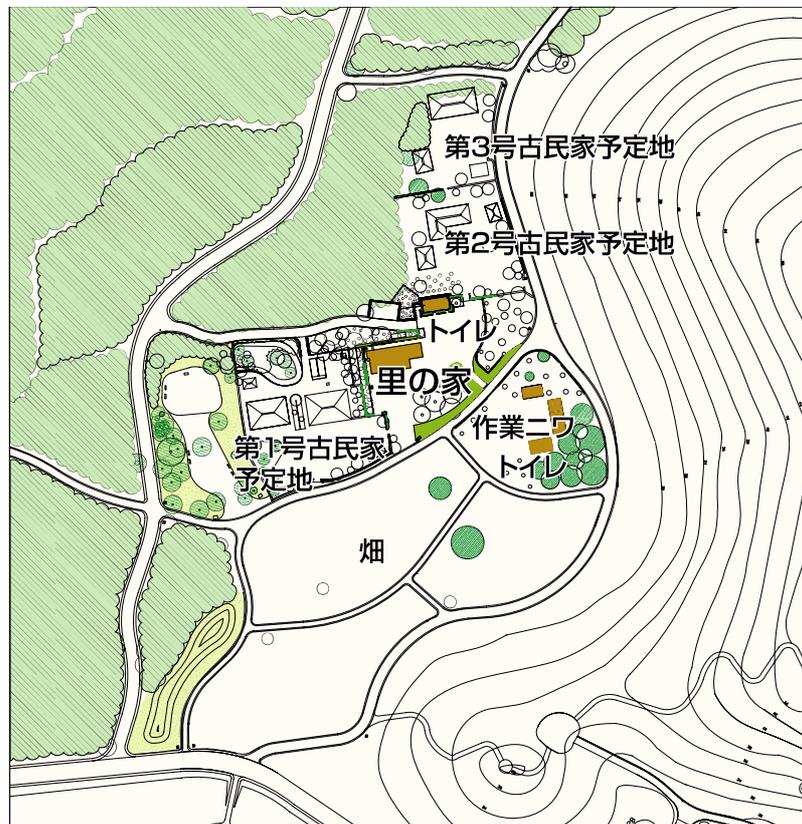
なつかしい村の風景をつくりだしながら、くらしの知恵を学ぶことのできるエリアにしていきたいと考えています。

2. 里の整備について

里の整備は、平成 17 年度の造成工事から始まりました。その後、平成 18 年度には作業ニワの水場とトイレを、次いで平成 19 年度には、活動拠点となる体験学習施設「里の家」を整備しました。

また、畑では平成 19 年の春に堆肥をすき込んだあと、夏から秋にかけて試験的にそばを栽培しました。今回、このそばを皆さんにふるまわせていただきます。

今後は第一段階の里づくりとして、17 世紀の古民家を整備していく予定です。



「そば畑」平成 19 年 10 月撮影



「そばの収穫」平成 19 年 10 月撮影

3. 里の家について



里の家として整備した建物は、もとは水戸市の北側を東流する那珂川の右岸、水戸市小泉町下^{しもあくつ} 坏に建っていたもので、元々の使われ方は農家でした。

里の家では、里の“食”を活用テーマとして、主に地域に伝わる伝統食や行事食づくりなどの活動を行っていく予定です。

里の家の整備にあたっては、里の施設らしきを出すために、もともとの古い農家の面影を残しながらも、みはらしの里の中心的施設として四季を通じて活用ができるように色々な工夫を凝らしました。

(もとの農家の面影を残すための工夫)

- ・ もとの家の木材を可能な限り再利用すると同時に、新しい木材を着色しないで使うことで、材の違いがわかるようにしました。



(活用するための工夫)

- ・ 四季を通じて活動に使えるよう冷暖房の空調設備を設置するにあたって、断熱性・気密性を確保するよう改造し、省エネルギー化を図りました。
- ・ 農作業で使った農具を洗う時に使えるよう、雨水貯留タンクを設けました。



『みはらしの丘第三頂上』について



■みはらしの丘第3頂上からの絶景がいつでもご覧いただけるようになります。

今までも、ネモフィラやコキア・コスモスの開花期など臨時に開放し好評をいただいております「みはらしの丘第3頂上」からの風景が、4月20日(日)より、いつでもご覧いただけるようになります。

この丘は、茨城県内の工事における建設発生土を利用して整備しており、ひたちなか市では最も高い丘となっています。頂上からは、西には那須連山、南には筑波山はもちろん、よく晴れた日には富士山を望むことができます。

ひたちなか市では最も高い丘海拔58m、360度の景観を是非お楽しみ下さい。

みはらしの丘データ

第1頂上:38m

第2頂上:44m

第3頂上:58m

この丘は、初夏には“ライトブルーの花「ネモフィラ」”で、秋には“紅葉する草「コキア」”や「コスモス」で彩られる予定です。

今後、季節の移ろいとともにより景観を変えていく、なつかしい村の風景「みはらしの里」を俯瞰でお楽しみいただけます。



平成20年4月11日撮影
第3頂上から「みはらしの里」を眺める。